

雇用対策協定締結自治体との連携事例（南アルプス市・山梨労働局）

工業団地への進出企業等に対する人材確保対策を推進！

取組を始めた経緯

○南アルプス市では、中部横断自動車道の全線開通やリニア中央新幹線の開業を見据え、拡張整備を行った既存工業団地や新産業拠点整備事業(fumotto(フモット)南アルプス)において、積極的な企業誘致活動を行っている。これらの企業誘致による雇用創出を図っているところ、誘致企業等の人材確保を推進する必要性があった。

南アルプス市

○積極的な企業誘致活動

- ・令和6年度に南アルプスIC新産業拠点(fumotto南アルプス)の開業
- ・既存工業団地を拡張整備
- ・南アルプス市産業立地事業費助成制度の周知・広報

○南アルプス市就職フェアの企画

南アルプス市と山梨労働局の連携

○企業説明会や就職面接会などの開催を通して、地元雇用を促進

- ・令和6年10月に「南アルプス市就職フェア」を共同で開催。



山梨労働局・ハローワーク甲府

○誘致企業等の人材確保対策の推進

- ・労働市場情報及び雇用支援制度に係る情報を発信

○「南アルプス市就職フェア」でのセミナー実施等

- ・各種助成制度の周知、利用促進
- ・ハローワーク相談窓口を開設

結果

- 南アルプス市就職フェアにおける参加企業数:30社・団体
- 南アルプス市就職フェアにおける参加者数:94名
- 同時開催の企業向けセミナーの満足度
大変満足:22.7%、概ね満足:72.7%、やや不満:4.5%
参加した企業からのコメントでは、就職フェアへの感謝以外にも「助成金制度を活用していきたい」「これまで知らなかった助成金について勉強できた」という声もあった。

連携の結果...

就職フェアの様子

双方の声

【南アルプス市】

雇用対策協定の枠組みを生かし、労働局やハローワーク等と協力し、今後も求職者への支援と地元企業の支援を行い、労働力人口の確保に努めたい

【労働局・ハローワーク】

南アルプス市就職フェアでは、企業に周知した助成金の活用を検討いただけたことで、市と労働局が雇用の創出に向け効果的な連携ができたと実感している。

潜在的求職者にハローワークイベントを周知、主要産業の人材確保！

1 取組を始めた経緯

加賀市の主要産業である宿泊業の人手不足が顕著であることを踏まえ、令和3年度から温泉旅館協同組合と連携した企業説明会・面接会を開催しているが、ハローワークのみでの周知に限界があった

加賀市

市の持つリソースを活用

- ・加賀市内全町内会への定期便を活用
- ・加賀市内郵便局：
郵便局長会議に出席し協力依頼
- ・加賀ケーブルテレビ：
市の広報番組を活用

加賀市とハローワーク加賀の連携

令和5年度から

潜在的求職者に対する周知を加賀市が実施

- ・加賀市内全町内会へのチラシ配布
- ・加賀市内郵便局及び市関連施設（市庁舎含む）での
チラシ、ポスターの配架、掲示
- ・加賀ケーブルテレビ及び加賀市広報誌での広報

ハローワーク加賀

広報素材の作成

- ・配布用のチラシ・
ポスター
- ・テレビ放映素材



2 連携の結果

- ・加賀市との取組をきっかけに、令和4年度と比較し、令和5年度、令和6年度は説明会参加人数が増加した

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
参加企業数	15	15	15
説明会参加人数	44	77	65
就職人数	4	11	5



3 双方の声

各産業の人手不足が顕著である中、特に宿泊業は勤務時間の特殊性から希望者が集まりにくい。連携により説明会への参加を促せたことから、引き続き就職のきっかけづくりに努めたい。

加賀市

加賀市が持っているリソースを活用できたことで、ハローワーク利用者以外に幅広く周知でき、確実に成果に結びついており、引き続き、連携を図っていきたい。

ハローワーク加賀